

女性活躍推進のためのセミナー

自分らしいリーダーシップの磨き方、磨かせ方

平成31年2月4日(月)

14:00-16:00

高知大学 朝倉キャンパス 総合研究棟 会議室2

講師 **高田 朝子氏**

法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授

挨拶 **宮井 千恵**

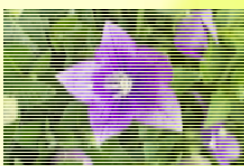
高知大学理事(ワークライフバランス担当)



女性がリーダーシップをとるために、おかれている状況や問題点、仕事の進め方について考えます。女性を取り巻く問題や、女性が管理職になる前に知っておく必要があることを学びます。女性だけでなくリーダーシップについて学びたい方、部下を育成する立場の方など、働く立場にある方はぜひご参加ください。

「男性の倍働かないと認められない」というのは、日本の女性たちのある種の信仰であり、女性が管理職になるのをためらわせる原因です。同じ仕事をして、男性が先に昇進するケースが多かったため、この信仰が持たれました。この根本は、①男性の方が能力的に優れているという偏見と、②女性は男性をたて、正面切って闘わないとする女性への「しなやか」神話幻想です。女性が「自己の利益を追求したり、強く自分をアピールしたりすれば、男にも女にも眉をひそめられることになりかねない」とサンドバーグも『リーン・イン』に書いています。

しかし、男性の働き方や考え方を基準として、近づくことは正しいやり方ではありません。女性は自分をよく理解し、課題に対して自分らしいアプローチを見つけていくことです。そして上司は「きちんと評価するから、頑張りすぎないように」と声をかけて、透明で公正な評価を行うことが大事です。(高田朝子『女性マネージャー育成講座』より)



【講師経歴】 高田 朝子氏

モルガン・スタンレー証券会社勤務を経て、サンダーバード国際経営大学院国際経営学修士(MIM)、慶應義塾大学大学院経営管理研究科経営学修士(MBA)、同博士課程修了。経営学博士。著書に『危機対応のエフィカシー・マネジメントー「チーム効力感」がカギを握る』(慶應義塾大学出版会、2003年)、『人脈のできる人ー人は誰のために「一肌ぬぐ」のか?』(慶應義塾大学出版会、2010年)、『女性マネージャー育成講座』(生産性出版、2016年)など。

専門分野: 組織行動 リーダーシップ 女性総合職並びに後継者研究。

対象 教職員・学生

申込み 参加ご希望の方は男女共同参画推進室までメールで、ご氏名・ご所属を記載の上お申込みください。定員に余裕がある場合は、当日参加も可能です。

問い合わせ 高知大学男女共同参画推進室

TEL: 088-888-8022 E-mail: sankaku@kochi-u.ac.jp

